

学校法人平安女学院
平安女学院大学短期大学部
機関別評価結果

平成 30 年 3 月 9 日
一般財団法人短期大学基準協会

平安女学院大学短期大学部の概要

設置者 学校法人 平安女学院
理事長 山岡 景一郎
学 長 山岡 景一郎
A L O 君島 茂
開設年月日 昭和 25 年 4 月 1 日
所在地 大阪府高槻市南平台 5-81-1

<平成 29 年 5 月 1 日現在>

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
保育科		100
	合計	100

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

平安女学院大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成30年3月9日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成28年6月17日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学の建学の精神「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」は、母体となる明治8年開校の「エディの学校」以来、140年以上受け継がれ、現在の教育理念、教育目標、三つの方針の定礎として掲げられ、キリスト教精神に基づく教育を推進している。

教育目的は、「乳幼児の保育と教育に関する専門的知識と技能を涵養するとともに、全人的な幅広い教養に富む人間性豊かな人材の育成」として学則に定めている。学習成果として具体的な六つの「ちから」（こころ、ことば、からだ、かなでる、えんじる、つながる）を設定し、建学の精神や教育目的、教育目標とともに大学案内やウェブサイト、学生手帳等で学内外に表明している。

学校教育法等の関係法令の順守に努めている。学習成果を焦点とする査定の結果を教職員で共有・確認し、教育課程等の再検討と併せて常に教授会で議論・点検を行い、教育の向上・充実を図っている。

自己点検・評価活動については、規程に基づいて自己点検・評価委員会を中心に定期的に行われ、その都度、定期的に報告書を作成・公表している。

三つの方針は明確に学内外に示されている。学位授与の方針は、建学の精神に基づいた教育理念・教育目標にのっとり作成されている。教育課程編成・実施の方針は、建学の精神や学位授与の方針を踏まえて具体的な項目として示されている。その方針に従って、幅広い教養を取得するための教養科目と実践力を修得するための専門科目で教育課程が体系的に編成されている。教育目標を踏まえて、入学者受け入れの方針が示され、ウェブサイトや募集要項に明示されている。

シラバスに記載された成績評価基準に従って学習成果の評価が行われ、実習結果やGPA結果、履修カルテなどにより、適切に学習成果が把握されている。幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得率、就職率は共に高く、学習成果が進路実現に結び付いている。

履修及び卒業に至る指導は適切であり、学生の苦手科目については習熟度別でリメディアル授業が実施されている。図書館や学内のコンピュータ環境も充実し、学生の学習に活

用されている。学生による授業評価アンケートの結果は組織的に検証され、授業の改善に役立てられている。職員は教員と連携しながら、教育目的・目標の達成に貢献している。

学生の健康管理については保健室や学生サポートセンター、進路支援についてはキャリアサポートセンターが置かれ、組織的に対応している。また経済的支援に関して、短期大学独自の様々な授業料減免等制度や奨学金制度を設け、寮も設置されている。入学手続き者に対し、「入学の手引き」を送付し、入学前教育が行われている。

教員組織は、短期大学設置基準を充足し、教育課程編成・実施の方針に基づいて適正に配置されている。専任教員の教育研究活動に関しては、個人の研究室が整備され、競争的資金の獲得実績もあり、資金の取り扱いや研究倫理に関する諸規程を整備している。研究成果の発表の機会として、保育科保育研究会が研究紀要「保育研究」等を発行している。事務組織はチーム制として責任体制を整え、事務関係の規程も整備されている。FD・SD活動はUD（ユニバーサル・ディベロップメント）委員会の下に設置され、規程を整備して研修会等が行われている。

校地・校舎の面積は短期大学設置基準を充足している。バリアフリー対策や省エネルギー対策が図られ、施設設備の維持管理は適切に行われている。学生及び教職員合同の避難訓練を実施している。ICT環境も物的・人的に適切に整備され、学生の学習成果の獲得に有効に活用されている。

財的資源に関しては、学校法人全体の事業活動収支は過去3年間、収入超過であり、短期大学部門では過去1年間、支出超過となっている。「第2次中期経営計画」により学校法人全体で改善が検討されている。

理事長は学長を兼務し、管理運営、教学の両面においてリーダーシップを発揮している。理事会を寄附行為に基づき毎月開催するなど、組織全体の状況を把握するとともに迅速な経営判断を行っている。学長としても規程に基づき教授会を開催し、教学運営を牽引している。

監事は、業務と財務状況について適宜監査を行っている。評議員会は理事長を含め役員の諮問機関として運営は適切であり、計画的な学校経営が推進されている。計算書類、財産目録等の表示は適正であり、教育情報及び財務情報はウェブサイトで公表・公開している。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ A 建学の精神]

- 日本聖公会から派遣されたチャプレン（学校付牧師）がキャンパスから徒歩 3 分の学生寮で学生と一緒に生活し、礼拝を始めキャンパスにおける宗教行事を執行している。昼休みにチャペルにて行われる学内外の講師による講話「チャペルトーク」や、イエス・キリストの降誕を祝う礼拝形式の無言劇「クリスマス・カンタータ」などの年間行事を通して、建学の精神の浸透とキリスト教精神に基づく教育を推進している。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 基礎学力の不足から学習困難を抱えている学生に対し個別指導を行うほか、学生が苦手としている音楽理論や一般教養、文章表現などの底上げを図るために、レベル（習熟度）によるグループ分けを行ってリメディアル授業を実施している。
- 就職指導に関して、ガイダンスを含む就職講座が計画的に頻繁に実施され、欠席者に対してはビデオ撮影によるフォローをしている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 幼稚園教諭に必須のピアノ技術を向上させるため、春・秋学期合わせて多くの講師による課外の個人レッスンを安価で実施し、志の高い学生に対して、質の良い学習環境を提供している。

[テーマ B 物的資源]

- キャンパス内のスロープやアシストドア、エレベーターの設置ほか、高槻市より低床バスの運行協力を受けるなど、車イスに対応したバリアフリー化が図られている。LED やソーラーパネルなどを導入し、空調熱源の切り換え工事を行うなど常に省エネルギー化に努め、コスト面だけでなく、学生の意識高揚にもつながる設備構築がされている。

[テーマ C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源]

- サーバ室が当該短期大学において独立して設置されており、隣接する情報処理演習室など学生が利用するパソコンの OS は最新のものに適宜更新されている。コンピュータ担当職員が常駐し、学生への ICT リテラシー教育を補助するなど、今日の情報化社会に適した教育環境を整えている。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ B 学長のリーダーシップ]

- 学長は短期大学部と併設大学の学長を兼務していることから、短期大学の教育力と四年制大学の研究力を相互に生かすことができるよう、教授会だけでなく委員会レベルまで共同で組織し、情報共有と意思疎通を図り相乗効果を生み出している。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- 卒業生及び進路先へ組織的にアンケート調査を実施する体制を整えることが、前回の第三者評価において課題として指摘されているが、当該年度、卒業生アンケートは実施されたものの、回収率の低さや質問事項など、まだ課題を残している。今後さらに、学習成果の点検につなげられるような体制にしていくことが必要である。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源]

- 学生に対する情報技術の教育は十分なされているが、教職員に対する情報教育はほとんどされていない。研修・学習の場を適宜設け、教職員の情報技術能力の向上に努めることが望まれる。

[テーマ D 財的資源]

- 短期大学の収容定員の充足率が低いので、充足率を上げるよう努力されたい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

前身となる明治8年の女学校開校以来、140年余りにわたり建学の精神「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」が一貫して掲げられ、現在も学内外に表明され、それに基づく教育、特に教育理念とする「キリスト教精神に基づく教育」が推進されている。チャプレン（学校付牧師）の活動や「貴品女性」という言葉とシンボルの導入により、学生、教職員へのさらなる浸透が図られている。

建学の精神に基づいて「躰・心得・愛」の三つの資質を身に付けることが短期大学全体の指導目標として掲げられている。保育科の人材養成に関して、学生手帳に示された「五つの能力」に加え、「乳幼児の保育と教育に関する専門的知識と技能を涵養するとともに、全人的な幅広い教養に富む人間性豊かな人材の育成を目的とする。」と学則に定めている。学びによって保育者として身に付けるべき具体的な六つの「ちから」（知識や技能）を学習成果として設定している。教育目的や教育目標、学習成果の到達目標は、建学の精神とともに大学案内やウェブサイト、学生手帳において学内外に示され、教育課程等の再検討と併せて常に教授会で議論・点検されている。

学校教育法等の関係法令の改正について関係通知の周知を図り、保育士、幼稚園教諭養成施設としての諸法規・基準とともに順守に努めている。学習成果を査定して教職員でその結果を確認し、課題の発見・分析を行い、改善に生かすことにより向上・充実を図り、教育の質を保証している。学習成果を焦点とする査定の手法としては、学生による授業評価アンケート、学生生活に関するアンケート、さらに重要な要素として幼稚園教諭、保育士としての就職（採用）実績が用いられ、また、単位の取得状況やGPA値分布等も利用されている。今後さらに、学びによって身に付く「五つの能力」や六つの「ちから」の具体的な測定方法の開発に期待したい。

自己点検・評価規程に基づき、自己点検・評価委員会が設置されている。学長を委員長として全学的な体制で自己点検・評価活動が進められ、全教職員が関与して自己点検・評価報告書が定期的に作成・公表されている。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

学位授与の方針は、建学の精神に基づいた教育理念・教育目標にのっとり作成され、ウ

ウェブサイトや大学案内、履修要項等で学内外に公表されている。教育課程編成・実施の方針は、建学の精神や学位授与の方針を踏まえて具体的な項目として示されている。その方針に従って、幅広い教養を取得するための教養科目と実践力を修得するための専門科目で教育課程が編成されている。

教育目標を踏まえて、入学者受け入れの方針が示され、ウェブサイトや募集要項に明示されている。入学者受け入れの方針に沿った学生を獲得するために、多様な入試制度が実施されている。

シラバスに記載された成績評価基準に従って学習成果の評価が行われ、実習結果や GPA 結果、履修カルテなどにより、適切に学習成果は把握されているが、今後、集計結果を分析し、PDCA サイクルにつながる体制作りがされることが望まれる。保育科で取得できる幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得率は高く、学習成果を一定期間で獲得できるといえる。また、それらの免許、資格を生かした幼稚園や保育所や福祉施設への就職率も高く、学習成果が進路実現に結び付いている。卒業生の受け入れ先である実習園等から情報を収集し、学習成果の把握に努めているが、今後、学習成果の点検につながる体制を整えることが望まれる。

履修及び卒業に至る指導について、オリエンテーションでの指導やクラス担任による個別指導等、丁寧な指導がなされている。クラスは少人数制を徹底し、きめ細やかな対応が可能となっている。基礎学力が不足していて学習困難を抱えている学生に対し、各教員による個別指導を行っており、学生が苦手としている音楽理論や一般教養、文章表現などは、リメディアル授業を実施している。図書館や学内のコンピュータ環境も充実しており、学生の学習に活用されている。

学生の健康管理に関して、保健室や学生サポートセンターが置かれ、学生対応できる体制となっている。経済的支援については、短期大学独自の授業料減免等制度や奨学金制度等を設けている。進路支援については、キャリアサポートセンターを設置し、職員を配置して就職を組織的に支援している。就職ガイダンスを含む頻繁な就職講座の実施のほか、模擬試験や対策講座等を開催している。入学手続き者に対し、「入学の手引き」を送付し、入学に関する諸準備等の情報提供がされ、さらに、授業や学生生活の理解が深まるよう、入学前教育が行われている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

教員組織は、短期大学設置基準に定める教員数を充足し、適切に配置されている。加えて、ピアノ演奏力の向上のため講師が配置され、志の高い学生に安価で質の高い課外の個人レッスンが提供されている。研究活動に関する規程が整備され、外部資金の獲得や研究室の確保、研究年報や保育研究等の発行による研究成果の公表など、研究のための体制が整えられている。事務組織はチーム制とし、横の連係を重視した構造となっている。各チームには責任者及び専門的な人員が配置されている。FD 委員会・SD 委員会は UD 委員会の下に設置され、研修会は合同で実施されているが、定期的な活動とはいえないので、短期大学としての組織的な活動が望まれる。外部研修会などに職員を派遣し、業務の改善が図られている。これらに関する諸規程は適切に管理・整備されており、教職員は常時閲覧

が可能である。

併設大学と共有の校地・校舎の面積は、短期大学設置基準を充足している。耐震、バリアフリー化、省エネルギー化などが順次施工され、学生に配慮したキャンパスとなっている。実習・演習等に用いられる各教室は整備されており、楽器類や遊具、小児保健関連の備品なども充実している。図書館ではシラバスに記載された参考図書がまとめて置かれるなど、授業理解への配慮がなされているが、蔵書の除却及び整備を進め、図書館の活用環境を見直されたい。学生と教職員合同の避難訓練を実施している。

情報処理演習室や図書館などにコンピュータを配備し、担当職員が常駐してネットワーク管理業務や学生支援などを行っている。学生にはメールシステムやネットリテラシーに関するテキストの配布、質問対応、情報技術の補助説明が実施されている。教職員に対する情報教育がなされていないので、研修・学習の場を適宜設けることが望まれる。学内のネットワークを、教育系サーバと事務系サーバに分けており、学生は教育系サーバを利用して履修登録や成績閲覧ができるように整備され、活用されている。

財的資源に関しては、学校法人全体の事業活動収支は過去3年間、収入超過である。短期大学部門での事業活動収支は平成26年度、27年度は収入超過であったが、平成28年度は支出超過となっている。「第2次中期経営計画」により学校法人全体で改善を検討している。学校法人としては、耐震改修が早急の課題であったため平成28年度は借入金の増加となった。また、短期大学の収容定員の充足率が低いので、充足率を上げるよう努力されたい。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は学長を兼務し、管理運営、教学の両面においてリーダーシップを発揮している。寄附行為に基づき理事会は月1回程度開催され、学校法人の業務を監督し、各学校の運営に関し責任を果たしている。教授会は規程に基づき定期的で開催され、教授会を補完する組織として各委員会が設置されている。

監事は寄附行為に基づいて学校法人の業務及び財産の管理状況について適宜監査を行い、当該会計年度終了から2か月以内に監査報告書を作成して提出し、理事会、評議員会に出席し報告を行っている。また、理事の業務遂行に対する意見等も述べている。今後は教学面での監査も予定している。

評議員会は寄附行為に基づいて適切な人数で組織され、理事長を含め役員との諮問機関として常に情報を収集し適切に運営されている。

併設大学との合同教授会は規程に基づき月1回程度開催され、また、教授会を補完する委員会も共同で組織され、連携を強化する体制ができている。

予算書、事業計画書は、評議員会に諮り理事会で決定された上で適切に執行されている。執行状況も定期的に理事長に報告され、公認会計士も定期的に監査を行っている。資産及び資金は規程に基づき安全に管理されており、教育情報及び財務情報はウェブサイト公表・公開されている。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

地域貢献の取り組みについて

総評

当該短期大学は、保育士、幼稚園教諭二種の養成課程を持つ保育科1学科の構成である。社会に向けた公開講座、生涯学習授業として平成28年度は、主に幼稚園教諭を対象とした免許状更新講習を2講座、一般市民を対象とした子育てに関するリレー講座を5回開催している。

行政、商工業、諸団体との交流活動では、平成17年度に大阪府高槻市、平成26年度には京都府長岡京市と地域連携協定を結び、学生が保育実習やボランティア活動に参加している。特に当該短期大学が立地する高槻市とは市民との様々な交流活動を行っており、子育て支援拠点事業の委託も受けている。その他にも乳児保育、障がい児保育の授業の一環として、京都市の児童館・学童保育が主催する「京都やんちゃフェスタ」へのブース出展、実習・就職先でもある大阪水上隣保館が主催する「さくらバザー」へのボランティア参加等の交流事業を行っている。今後も授業・実習を含めたスケジュール管理の下に積極的に交流を進めていく見込みである。

教職員及び学生のボランティア活動等を通じた地域への貢献については、子どもと関わる教育実践の場と捉え、学科及び学生サービスチームで学生の社会的活動への参加を積極的に支援している。授業としては「ボランティアワーク」の中で事前事後指導を伴い「芥川こいのぼりフェスタ1000」と「高槻ジャズストリート」に参加して保育実践にも生かせるスキルを学ぶ機会としている。その他、「キッズゴスペル部」、「人形劇部」などのクラブ活動でも子どもフェスティバルや公民館やコミュニティセンターの季節行事にボランティアとして参加している。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 保育科は保育士、幼稚園教諭養成の学科であり、平成19年度より「高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型」運営施設として、キャンパス内に「どんぐりの森」を設置している。教員が運営に参画し、学生もボランティアとして乳幼児や保護者と交流するなど、子育て支援の各種事業を展開しつつソフト、ハードの両面で地域に貢献している。
- 平成22年度より始めた冬のキャンパスを彩る「アグネスイルミネーション」は、期間中20時まで地域に開放し、近隣住民に楽しまれている。